

生成AIについて (補足資料)

2025年11月8日

行政書士事務所オフィス・マサミ

佐藤 正己

I. 生成AIの概要と分類

- ・生成AIは、学習したデータに基づいて、テキスト、画像、音声、動画などの新しいコンテンツを創造する人工知能の一種です。
- ・従来のAIが既存のデータを分析・分類するのに対し、生成AIはこれまでにないオリジナルの情報を生み出す点が特徴です。

項目	説明
定義	大量のデータから学習し、新しいデータ（テキスト、画像、音声、動画など）を生成するAI
目的	クリエイティブなコンテンツの生成、データ拡張、シミュレーションなど
主要技術	ニューラルネットワーク（特にトランスフォーマー、GAN（敵対的生成ネットワーク）、拡散モデルなど）
学習方法	大規模なデータセットからパターンや構造を学習し、その学習に基づき新しいデータを生成
課題	- 倫理的問題: 偽情報の生成（ディープフェイク）、著作権侵害、バイアスの増幅 - 品質管理: 生成物の正確性や一貫性の確保 - 計算リソース: 大規模モデルの学習・運用に必要な膨大な計算能力 - 法整備: 生成物の責任の所在、利用ルールの明確化
今後の展望	さらなる高性能化と多機能化、様々な産業分野への浸透、より高度な人間との協調作業の実現

2. 主な生成AIの製品・サービス・メーカー

1. テキスト生成AI

分類	製品・サービス例	主なメーカー／開発元	特徴
汎用	ChatGPT（チャットGPT）, GPT-4, Claude(クロード), Gemini（ジェミニ）, Llama（ラマ）	OpenAI, Anthropic, Google, Meta	幅広い分野でのテキスト生成、要約、翻訳、質問応答、プログラミングコード生成など
特化型	Notion AI（ノーションAI）, Jasper（ジャスパー）, Copy.ai, Rytr（リュトル）	Notion Labs, Jasper AI, Copy.ai, Rytr	特定の用途（コンテンツマーケティング、記事作成、メール作成など）に特化
プログラミング	GitHub Copilot（コパイロット）, Amazon CodeWhisperer（コードウィスパー）	GitHub (Microsoft), Amazon	コードの自動生成、補完、バグ修正の提案など

※この資料は生成AI (google gemini) を利用して作成しています)

2. 主な生成AIの製品・サービス・メーカー

2. 画像生成AI

分類	製品・サービス例	主なメーカー／開発元	特徴
汎用	DALL-E 3（ダリ・スリー）, Midjourney（ミッドジャーニー）, Stable Diffusion（ステーブル・ディフュージョン）	OpenAI, Midjourney, Stability AI	テキストから高品質な画像を生成、多様なスタイルに対応
デザイン・イラスト	Canva AI（キャンバAI）, Adobe Firefly（アドビファイアフライ）, Leonardo.Ai（レオナルドAI）	Canva, Adobe, Leonardo.Ai	デザイン素材の生成、既存画像の編集・加工、イラスト生成
動画・3D	RunwayML（ランウェイML）, Pika Labs（ピカラボ）, Luma AI（ルマAI）	RunwayML, Pika Labs, Luma AI	テキストや画像から動画生成、動画のスタイル変換、3Dモデル生成（Luma AI）

※この資料は生成AI (google gemini) を利用して作成しています)

2. 主な生成AIの製品・サービス・メーカー

3. 音声・音楽生成AI

分類	製品・サービス例	主なメーカー／開発元	特徴
音声合成	ElevenLabs（イレブンラボ）、Voicify AI（ボイスファイAI）、Google Text-to-Speech	ElevenLabs, Voicify AI, Google	テキストから自然な音声を生成、感情表現や声色の調整
音楽生成	Amper Music（アンパーミュージック）、Soundraw（サウンドロー）、Google MusicLM	Amper Music, Soundraw, Google	楽曲の自動生成、BGM作成、特定のジャンルやムードの音楽生成

※この資料は生成AI (google gemini) を利用して作成しています)